

中国5県絶景の旅⑥

ちようせいざん こうざんじ

「広島県尾道市・潮聲山耕三寺

——宗教アートのテーマパーク

6月16日月曜日、吉備津神社を参拝した翌日である。雨が降ってあれば、またの機会にしようと思っていた。時期的には梅雨の真っ最中なので、雨の確率の方が高いと思って、いたが、空を見上げると曇天、行くべし！

山陽自動車道の吉備スマートインターチェンジより高速

に入った。サービスエリアに隣接した簡易な無人ゲートで、ETC装備車両だけ利用できる。山陽自動車道を福山西インターチェンジで降りて、国道2号線を5キロ走って、西瀬戸道インターチェンジからしまなみ海道に入った。絶景の旅の初回で、島根県の日御碕灯台を訪ね、日本海の水平線を眺望した。今回の広島の旅では、

瀬戸内海を訪れてみたい。脳裏に浮かんだのは、日本画家の平山郁夫の絵である。「出雲路古代幻想」シリーズで、日御碕や日御碕神社を描いている。そして、「しまなみ海道五十三次」と題して、60点の水彩画を残している。しまなみ海道の生口（いくち）島は平山郁夫の生誕地であり、平山郁夫美術館がある。

生口島の情報を収集していたときに出てきた耕三寺の名前に、聞き覚えがあった。福山市内の小学校にいたときに、遠足で訪れたことがある。当時はまだしまなみ海道は開通していないので、バスや

フェリーを使つての遠足だったのだろう。

新尾道大橋で向島に渡り、因島大橋で因島に入る。海峡の景観は素晴らしいが、潮風が強くて橋が揺れている。軽自動車の車体が吹き飛ばされそうな恐怖を覚える。実際、強風で車両が横転するという事故も起きていて、風速25メートル以上の強風が予測されるときは通行止めになっている。

生口橋を渡り、生口島北インターチェンジで高速道路を降りた。ちなみに、次の大三島は四国・愛媛県である。岡山を10時頃出発したのだが、ここまで1時間半もかかっていない。

まずは砂浜を散策してみたい……。海岸沿いの県道81号線を走って、サンセットビーチの中の駐車場に車を停めた。この砂浜から大三島を望む景色を平山郁夫が描いている。画伯の絵は夕陽に染まっている。砂浜の防風林は、巨大な蘇鉄だろうか？ 南国の景色である。

気温は30度近くで真夏の陽気だが、まだ海開きをしていない海水浴場は人影もまばら。白い砂浜を裸足で歩くと足裏が熱いので、早々に引き揚げた。

県道81号線を3分の1程戻った所に耕三寺がある。すぐそばの有料駐車場に車を停めたが、あとで近くに無料の駐車場があることに



日光東照宮の陽明門を参考にした耕三寺・孝養門



世界最大級の大理石庭園「未来心の丘」

発行：どら書房

誌面デザイン: ROUTE183
協賛：九日市愛好会